

## 女性の権利擁護に関する研修会報告書

日 時： 令和元年 12 月 1 日（日） 14 時から 16 時

会 場： 山口南総合センター多目的ホール

テ ー マ： 支援における DV の捉え方、関わり方～被害と加害の連鎖の観点から～

参 加 者： 26 名（内、社会福祉士正会員 9 名）

報 告 者： 企画チーム担当理事 杉山美羽

### 報告

福岡市からユキメンタルサポート代表の福田由紀子氏をお迎えし、DV の本質、その影響、また支援の考え方などを学んだ。

まず、苛烈な虐待により子どもが命を落とした 2019 年 1 月の千葉県野田市の事件、2018 年 3 月の東京都目黒区の事件について、その背後にあったと考えられている DV について、実際の事件の経過や裁判での証言などを基に解説された。そこから、DV の起こる背景や被害者の心情、時に精神疾患や複雑性 PTSD などに至るほどの影響があることを学んだ。また、子どもの支援について、面前 DV は児童虐待であり、母親を責めないことが鉄則であると話された。また、暴力はふるう側の問題であり、暴力をふるってもいい相手だと思っていることが原因であるとし、2 次被害を生まないための支援の留意点をまとめられた。最後に、MeToo 運動やフラワーデモなど、性暴力に反対する社会運動についても触れられた。

